

## NEWS RELEASE

<<http://www.takara-bio.co.jp>>

2018年6月19日

TB18-0688

### 染色体解析に関する技術提携契約を 株式会社 Trans Chromosomics と締結

タカラバイオ株式会社は、株式会社 Trans Chromosomics (本社; 鳥取県米子市、トランスクロモソミックス、以下、TC 社) との間で、再生医療等製品における染色体解析法<sup>(注1)</sup>の標準プロトコール作成に関する技術提携契約を本年6月19日付で締結しました。当社は今後、高品質な染色体解析に関する受託サービスの提供を進めてまいります。

再生医療等製品などで使用される細胞は、長期間の培養により、染色体(核型)異常が起こり、本来の機能を失い、がん化等のリスクが高くなることが知られています。そのため、iPS 細胞のような多能性幹細胞では、染色体解析による染色体異常の確認が行なわれます。しかしながら、染色体解析には、熟練した専門技術者が必要で、解析が普及しにくい点が課題となっています。TC 社代表である押村光雄 鳥取大学名誉教授は、染色体研究に長らく従事し、染色体解析分野の第一人者です。押村氏が創業した、TC 社は染色体解析に関する豊富な経験と技術を保有しており、当社は、今回の技術提携により、新たに染色体解析の標準プロトコールを確立し、今後、ニーズが高まると予想される、再生医療等製品の信頼性保証サービスとして提供することを計画しております。

当社は、再生医療等製品の開発・製造支援事業である CDMO 事業に注力しており、本染色体解析サービスをはじめとし、再生医療等製品の製造、品質管理、各種試験について、GMP/GCTP<sup>(注2)</sup>に準拠した、信頼性の高い各種受託サービスメニューの提供を通じ、CDMO 事業を一層拡大してまいります。

(注1) 細胞核内の染色体を同定し、様々な手法により、転座・重複・欠失などの構造異常の有無を調べることです。

(注2) GMP は、Good Manufacturing Practice の略で、医薬品を製造する際に遵守すべき「医薬品及び医薬部外品の製造管理及び品質管理の基準」を指します。一方、GCTP は、Good Gene, Cellular, and Tissue-based Products Manufacturing Practice の略で、「再生医療等製品の製造所における製造管理及び品質管理の基準」を指します。

【株式会社 Trans Chromosomics の概要】

会 社 名	株式会社 Trans Chromosomics
所 在 地	鳥取県米子市西町 86
設 立 日	2014 年 12 月 17 日
代表者取締役	押村 光雄
事 業 内 容	染色体工学技術を利用した医薬品等の研究開発及び 受託研究

当資料取り扱い上の注意点

資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

---

この件に関するお問い合わせ先 タカラバイオ株式会社 広報・IR 部 Tel 077-565-6970
---